

R6
6
月定例会

3日間12人の

個人質問

個人質問とは

八尾市の市政全般について、市民の代表として議員が市に対して説明を求めることや疑問について聞くことをいいます。
八尾市議会では、答弁を含まずひとり30分の持ち時間となっています。

日本共産党
甲 裕子
たなか ゆうこ



可燃ごみ収集の 民間委託について

Q 令和6年7月に始まる可燃ごみ収集の民間委託において、市直営から委託業者の収集に変更となる地域を市民に周知すべきと考えるが見解は。

A ごみの排出方法や収集日に一切変更がないことを市民に理解いただくことが重要であり、委託業者が収集する地域の周知までは必要ないと考える。

Q 民間委託に係る再入札では、予定価格公表のもと、落札率が99.98%の区域もあったが、問題は無いのか。

A 受託業務を遂行できる適切な価格で落札されることが重要であり、法令の範囲内で対応している。



田中裕子議員の個人質問資料より

その他の質問項目

- 学習プラザめぐるの来場者

無所属
露原 行隆
つゆはら ゆきなが



子どもの発達支援に 地域ぐるみの環境を

Q 子どもの個性や家庭での生活環境を把握し、様々な課題解決を図る契機となる5歳児健診が必要だと考える。大分県津久見市では健診を通じて、保健、福祉と教育部署が連携し、地域ぐるみで子どもを育む取り組みを進めているが、本市の見解はどうか。

A 5歳児健診の導入にあたっては、保健指導や専門相談、就学に向けた支援に加え、地域のフォローアップを含めた実施体制の構築など様々な課題があるが、国のマニュアルを指針として、本市での実現可能な手法について検討を進めている。



子どもの発達支援に5歳児健診の必要性が高まっている。

その他の質問項目

- 保健所及び保健センター施設の今後のあり方

個人質問

八尾の未来を紡ぐ会
吉村 拓哉
よしむら たくや



マイナ保険証への 移行に伴う対応は

Q 現行の健康保険証の廃止後、マイナンバーカードを持っていない方や、カード保有者で健康保険証利用登録をしていない方に対して、資格確認書を交付していくのとことだが、どのように進めていくのか。

A 資格確認書については、令和6年12月2日以降、各保険者から交付されることとなっている。

Q 可燃ごみ等収集業務の3分の1を民間に委託するが、今後、委託の割合を増やしていく場合においても、行政が市全体を見渡せる状況を確認すべきかどうか。

A 市民にとって安心なごみ処理体制を今後も取り続けていくことが重要であり、委託業務を進める中で見えてきた課題等について検証を行い、今後の事業に反映していく。

その他の質問項目

- マイナ保険証に関するトラブル

日本共産党
越智 妙子
おち たいこ



手話言語の認識広め 共生社会の実現を

Q 市立病院への手話通訳士の配置や、救急隊員など職員向けに手話研修を実施すべきだがどうか。

A 市立病院においては、手話研修及び手話ができる職員の配置を行っているが、障がい者への理解や意識醸成を図る研修を実施している。救急隊員を対象とした手話研修は他市の状況や対応等を参考としながら研究していく。

Q 聾・難聴児の手話の習得について、本市職員の認識を深めるため、大阪府の乳幼児期手話言語獲得支援事業「こめっこ」に職員を派遣してはどうか。

A 専門性が高く、有益な事業であると認識しており、先進的な事業等については、職員理解を深めるための取り組みを進めていく。
Q こども園や塾など、子どもに関わる場所での手話通訳費用は公費負担すべきと考えるがどうか。
A 個別に内容を確認し、調整の上、対応している。

大阪維新の会
松本 剛
まつもと つよし



放置自転車対策 より効果的な施策を

Q 放置自転車対策に令和6年度予算として約6190万円を計上しているが、駅周辺の放置禁止区域における放置車数が大幅に減っている中、即時撤去も含め、より効果的・効果的な対策をすべきと考えるがどうか。

A 市民の良好な生活環境を確保するために必要な施策と考えているが、先進市の事例調査や事業内容の見直しなどを行い、経費の削減を図っていく。

Q 地域の防災備蓄品は危機管理課で一元管理し、在庫数や管理場所等の正確な把握に努め、庁内及び地域と共有するよう求めてきたが、現状はどうか。

A 各校区まちづくり協議会に、防災備蓄物資の点検と報告を依頼しており、保管場所等の把握ができ次第、速やかに庁内での情報共有を進める。

その他の質問項目

- 教育センター施設の旧校舎内の部屋等の貸出条件及び実績

公明党
前園 正昭
まえの まさあき



防犯灯に関する課題 解決を急ぐべき

Q 町会加入率の減少により、防犯灯の設置や維持管理が困難となっている地域が生じている。このような課題を早急に解決すべきと考えるが市の見解は。

A 持続可能な防犯灯の仕組みを構築するにあたり、効果的な手法や財源の確保について検討を進めている。

Q 難聴の方や聞こえづらい方への有効な支援策として、軟骨伝導イヤホンを市庁舎の窓口に設置すべきだと考えるがどうか。



軟骨伝導イヤホンを導入する自治体や金融機関等が増えている。

その他の質問項目

- 学校・特別教室のエアコンを早急に整備すべきこと

個人質問



**被災した人の健康に
寄り添った支援を**

八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉



Q 災害発生時の避難所での健康被害を防止するため、医師会・歯科医師会・薬剤師会と協定を締結し、健康管理や薬剤の確保ができる支援体制を構築すべきではないか。

A 災害時における医療活動に関する三師会との協定締結の早期実現に向けて取り組んでいく。

Q 福万寺町市民運動広場のドッグランについて、写真等を用いた効果的な広報による利用促進や、マナー違反防止・施設点検等のための巡回を行うなど、施設を気持ちよく使ってもらうための取り組みが必要ではないか。

A 早急に効果的な周知に努める。また、巡回時に施設利用時の注意事項を周知する声かけを行うなど、マナー違反等の防止に努めていく。

Q オンライン面談等、教員や保護者の負担軽減につながる家庭訪問の在り方を検討すべきではないか。

A 今後、学校行事の見直しの観点で、各学校に他事例等の紹介も行っていく。



**都市農業支援と
オーガニック給食を**

八尾保守の会
川上 舞



Q 本市における農地面積の減少率が全国平均と比べて非常に大きくなっており、都市農業への支援が必要と考えるが市の見解は。

A 農業者の高齢化や後継者不足が大きな課題と考えており、八尾市都市農業振興基本計画に基づき新規農業者の育成支援や農地バンクの活用、地産地消等に取り組んでいく。

Q オーガニック給食の導入は、環境への配慮や地域の農業を守ることにも繋がる。子どもの健康を守る観点から導入を検討すべきではないか。

A 食育や地産地消等への効果があることは認識しているが、食材の必要量の確保や価格面での課題があり、導入は困難な状況である。



子どもの健康や食育に繋がる
学校給食の推進が望まれる。



**万博遠足は安全を
踏まえた学校判断で**

日本共産党
谷沢 千賀子



Q 万博開催予定地である夢洲では、土壌から有害物質が検出され、メタンガスの爆発事故も起きている。そのような危険な場所での万博開催について、市長はどう受け止めているのか。

A 博覧会協会において、開催期間中の災害や熱中症に対する追加の安全対策が取りまとめられる予定であり、安全安心に開催されるものと考えている。

Q 万博への遠足に当たっては、子どもの安全を第一に考え、子ども・保護者・学校の思いを尊重する必要がある。学校が子どもたちの安全を守る正しい判断ができるよう、情報を伝えていくべきと考えるがどうか。

A これまでも各学校へ十分な情報提供を行っており、府に対し、早い段階で市へ情報提供することや子どもたちの安全を確保することなどを要望している。

その他の質問項目

- 万博関連経費を削減し、市民の命と暮らしを守る予算を拡充すべき



**市立斎場の職員逮捕
事業のあるべき姿は**

大阪維新の会
稲森 洋樹



Q 市立斎場職員の逮捕について、技能労務職員に対するマネジメントが効かない体制であったのか、市の課題認識は。

A 管理職員のマネジメントが十分であったとは言いが切れず、また、日常業務を指揮監督する技能長に、本来職員が持つべき公務員倫理が欠落していたことなどが、背景にあると認識している。

Q 令和7年度以降の事業手法については抜本的見直しが必要と考えるがどうか。

A 民間委託も含めた検討が必要であると認識している。

Q 市立斎場2階の待合室について、「ほとんど使われていないのではないか」「もったいない」との声が上がっている。利活用を促進すべきではないか。

公明党
福永 美智子



**認知症個人賠償責任
保険事業の導入を**

Q 認知症になっても安心して外出できるまちづくりのため、市民に寄り添った支援の取り組みとして、認知症個人賠償責任保険事業を導入すべきと考えるがどうか。

A 事故等を起こすリスクは認知症の人に限らないため、対象者や適用範囲なども含め、福祉全体として考えていきたい。

Q 15歳から18歳までの若者には、悩みに寄り添い、支える存在が必要と考える。切れ目のない支援を実施する観点からも、中学校卒業時に進路未決定の子どもの相談支援のため、教育委員会とこども総合支援センター「ほっぷ」との連携が必要ではないか。

A 中学校卒業時に進路未決定の子どもには、ほっぷをはじめとした府内の様々な相談先の情報を提供している。

その他の質問項目

- 小中学生対象の認知症の人との共生の心を育む体験型学習の実施
- ヤングケアラー支援の強化

ZEBとは

建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

ZEB Readyとは

ZEBを見据えた先進建築物のこと。

その他の質問項目

- こどもまんなか社会実現の本市の取り組み
- 職員の使命感・倫理観の現状と醸成



**ゼロカーボンに向け
ZEB化を推進**

公明党
五百井 真二



Q 既存公共施設の迅速なZEB化が必要であると考えるが市長の見解は。

A 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用しながら、スピード感を持って取り組んでいく。

Q 新築も含めた将来的な公共施設のZEB化の展望は。

A 今後、新築する公共施設では、ZEB Readyを目指すとともに、令和10年度までにリサイクルセンターを含めた2施設をモデルとしてZEB化に取り組み、その検証を踏まえながら、既存の公共施設についてもZEB化を進めていく。

Question 一般質問ってなに???

Answer

**議員が市長に対し、市が行う仕事について
質問することです。**

一般質問には、会派の代表者が行う「代表質問」と、議員個人が行う「個人質問」があります。議員は、市が行う子育て支援、福祉、観光、教育等の取り組み内容などの市政全般に関し、幅広く質問することができます。これに対し、市は今後の事業の進め方や課題解決のための考え方を答えます。このやりとりは、市民の代表である議員が市の考え方をチェックし、市民の思いを市民サービスに反映させるという大切な役目を果たしています。

永年勤続議員への表彰状を伝達

議会活動を通じ、地方自治の振興と市政の発展に永年貢献された功績に対し、本市議会の2人の議員が全国市議会議長会から表彰を受けました。



25年表彰
田中久夫議員 田中裕子議員

本会議で議案質疑がありました

6月13日 日本共産党 谷沢 千賀子
議案第57号「大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件」

QRコードから、本会議での議案質疑の映像を見ることができます。

